

## 2019 年上海市血液净化濾過技術特別フォーラム参加報告書

日程：2019. 9. 1

会場：復旦大学附属中山医院東院区 18 号楼 4 楼

主催：上海市血液透析品質管理センター（丁 小強 主任）

参加者：透析工程師約 80 名

報告者：森上辰哉（元町 HD クリニック）

五十嵐洋行（矢吹病院）

吉本 裕（草加市立病院）

川崎忠行（臨床工学国際推進財団）報告者

上海市血液透析品質管理センターの丁教授よりの依頼にて、日本から 3 題の講演の依頼があり、下記 3 名と 8 月 31 日に上海へ渡航した。

演題 1 「HDF-On-line 施行における安全管理」 演者：森上辰哉

演題 2 「HDF 除水トラブルへの対応」 演者：五十嵐洋行（矢吹病院）

演題 3 「単身用透析装置の洗浄消毒及び消毒液と消毒方法」 演者：吉本 裕（草加市立病院）



8 月 31 日に前泊しホテルは、会場の中山医院に近い「上海青松城大酒店」であり、徒歩にて復旦大学附属中山医院を一回りし会場を確認した。復旦大学附属中山医院は 21 棟が道路を隔てて立ち並んでおり、昨年から 2 階に各棟を結ぶ通路が作られ雨に濡れずに移動できるようになっていた。また 100m 四方が工事中で 22 号棟が建設中とのことであった。



9月1日のプログラム（別添）では、主催者の丁教授の挨拶に加えて、上海医師会副会長や中山医院副院長の挨拶もありました。

そして森上氏の講演が9：40～10：40、続いて五十嵐氏が11：00～12：00、更に昼食をはさんで吉本氏が14：00～15：00に講演しました。

講演中は参加者全員が真剣に講演に聞き入っており、多くの方はスマホでスライドを写真撮影しておりました。会場から装置の耐用年数などの活発な質問もありました。また、上海市でのトラブルに関する調査で除水に関するものが33%と特に多いようでした。

しかしそのトラブルの定義や詳細な内容については示されていませんでした。後で伺ったところ除水精度の確認などの点検は年2回業者が来て確認するだけとのことで、透析液濃度の確認のための検査も年に1回が一般的とのことでした。中山病院では検査室の理解も得て頻繁に確認はしているとのことでした。



2019年上海市血液净化超滤工程技术专题论坛 2019年9月1日

时间/Time	题目/Topics	讲者/Speaker
上 午		
9:00-9:10	领导致辞	丁小强（中山肾内主任）
9:10-9:25	容量控制的重要性	丁小强（中山肾内主任）
9:25-9:40	上海血透单位故障调研（超滤）分析应对方法	柯晓洁（中山）
9:40-10:40	HDF-On-line 施行时的安全管理	森上辰哉（日本）
10:40-11:00	茶 歇	
11:00-12:00	HDF 施行时脱除故障原因及分析解除	五十嵐洋行（日本）
12:00-13:00	午餐、休息	
下 午		
13:00-14:00	血液透析室水处理系统单人用透析装置的清洗消毒及消毒液和消毒方法	吉本 裕（日本）
14:00-14:15	水处理系统的发展	费森
14:15-14:30	水处理系统的安全和感染控制	邹建洲（中山）
14:30-14:45	水处理系统和血透机的消毒	高晓东（中山）
14:45-15:00	茶 歇	
15:00-15:15	水处理系统的维护保养	张姚昕（新华）
15:15-15:30	水处理系统日常操作流程	宋羽成（中山）
15:30-15:45	透析用水细菌及内毒素检测标准与方法	黄华敏（中山）
15:45-16:00	总 结	柯晓洁（中山）

会议地点：复旦大学附属中山医院东院区 18 号楼四楼独山&兆睿厅



そして、コンソール消耗部品の交換は一切行なっておりませんでした。メーカーは消耗部品のリスト、交換時間を病院に提示しています。しかし、中国で部品は壊れるまで使用するものと病院スタッフは考えており、定期交換はメーカーが利益を得るために行われるものと理解されています。これは文化の違いを大きく感じる場面でした。透析液清浄化は細菌に対する知識を持っているようですが、エンドトキシンや細菌培養の結果はありませんでした。上海で最も清浄化が行われている中山病院においても、測定は検査室に依頼している状況です。一般の透

析施設では院内に測定機器がありませんので、透析液清浄化の確認が困難な環境でした。日本では透析液清浄化が行われた後にオンライン HDF が普及していった経緯があります。現在の環境で取り組むべきは透析液組成の確認、装置消耗品交換、透析液清浄化が優先されるかもしれません。これを行う人材を確保し、優先順位を付けてクリアすることで日本では考えられない人数の患者さんを救えることができると思います。

